

若者の  
Uターン促進策を！



金子 裕美  
議員

**問** 進学で本市を離れる前の高校生を対象に足利の企業を知ってもらう機会を設けることは、将来のUターンに効果的であると考えるが所見を聞きたい。

産業観光部長

就職活動時期に至るまでの間に、定期的に市内企業の情報を発信していくことは、企業と学生の双方にとって有益であると考えます。まだ就職意識の薄い学生に対してどのような情報を発信していくのか、効果的な発信方法やその内容について、雇用協会の協力を得ながら具体的な研究を進めていきたい。

◆こどものための条例

**問** 条例の制定に当たり、さまざまな立場の方の考えを伺うため、足利市子ども・子育て会議において意見を聞いてみてはどうか。

健康福祉部長

同会議は、市内の子どもに関係する主な団体等から委員として参加いただき、各事業に対して意見を伺っている。同条例の制定については、今後も各委員のご意見を伺いながら研究していきたい。



小侯城山町地内における  
民間産業廃棄物最終処分  
計画について問う！



須田 瑞穂  
議員

**問** 小侯地区の各町内やPTA、育成会等の要望を受け、市では同計画に対する説明会を行っているが、こうした市民の動きをどう受けとめているのか。

副市長

小侯地区はもとより、他の地区や金融機関、女性団体など、さまざまな団体からも申し出をいただき、積極的に説明会に臨んできました。その中で、市処分場と民間の処分場は全く別の話であることをお話ししたところ、多くの方に理解していただいたと感じています。今後も積極的に向き、その違いや足利市に何が今必要なのかを語ってまいります。

◆道路交通法の改正に伴う消防団の車両  
運転の影響

**問** 準中型免許の新設により、同法改正後に免許を取得した団員がポンプ車を運転できない事態が生じ、将来的に消防団の活動への支障が危惧される。早期に対応策を検討すべきではないか。

消防長

総務省消防庁から準中型免許取得にかかる公費負担制度の創設について方針が出された。本市においても同方針に沿った助成制度を今後検討したい。



▲消防分団のポンプ車

全市民で  
子どもの安全を守れ！



小林 貴浩  
議員

**問** 子どもたちが事件に巻き込まれないよう、登下校時の安全対策を講じるべきではないか。

教育長

本市では、警察等の協力により各学校で交通安全教室や防犯教室などを実施している。また、通学路の危険箇所を点検し、さらに不審者情報の配信による注意喚起を行っている。今後も家庭教育懇談会をはじめとしたさまざまな場で市民ぐるみで防犯意識を高めるようお願いしていきたい。



▲小学校における交通安全教室の様子

◆部活動指導員

**問** 部活動における技術指導のほか、教員の負担軽減にも効果が期待される部活動指導員の導入について、本市での検討状況を聞きたい。

教育長

本市では、現在外部指導者により部活動の指導が行われており、その存在に助けられているとの話があることから、子どもたちが希望する部活動で楽しく活躍できるように、外部指導者のさらなる充実を図っていききたいと考えている。